



会長の時間

皆様こんにちは。

井上賢太郎先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。状況はよく分かっておりませんので、分かり次第お知らせ致したいと思っております。

前回、急遽日台ロータリー親善会議ご参加のお願いを致しましたところ、30名超の申込みがあり34名の登録をいただき、本当にありがとうございました。

しかし、今朝実行委員会の方から報告がありまして、やはりコロナウイルスの関係で3月6日は延期したいと申し入れがありました。登録をされた方には、後日、文書等で連絡を申し上げるということです。中止ではなく延期です。しかし、かなり先になるのではないかという状況のようです。

やはり話題は、コロナウイルスでありまして、詳しく後で牟田先生からお話であろうかと思っております。大変心配しております。特にオリンピックがどうなるか、気になるところでございます。

日本人のIOC委員である渡辺守成さん、その方の講演がありまして、聞かれた方もいらっしゃるかも知れませんが、心配な点は、IOC委員の方は、かなり高貴な方ばかりの集まりのようで、ほとんど何の議論もなく、どこで何が決まるか分からないという様な、なかなか難しい、理解の難しい会だということでした。

渡辺さんのお話では、物を言ったらいけない会のようで、何か言ったらどういふ跳ね返りがあるか分からない会だということでした。それぞれがお殿様、お姫様という感じであまり物も言わないし、なかなか難しいということでした。

例えば、札幌にマラソン会場が変わったのも、「東京から札幌だ」という一言で決まったようで、どこで何が決まったのかよく分からないが、一言で決まったという経緯があるようです。

ボクシングについても、ボクシングの世界の協会が麻薬か何かで追放になったために、東京オリンピックではボクシング競技はなくなってしまったようだったのですが、渡辺さんは、国際体操連盟の会長をやっておられ世界各国を回られて、ボクシングをやろうとしている人には若者が多く、これはかわいそうだなと思い、会長のバッハさんにそう言ったら、「それなら、オマエやれ」と言われたそうです。

「オマエやれ」と言われて、ボクシングを何も知らない渡辺さんがボクシングをオリンピックでやるために、審判委員を探しまわっているというお話でした。400数名くらいの審判員になれる方がいらっしゃるようですが、清廉潔白な方が少なく、集めるのが大変だとおっしゃっておられました。

下手すると、東京オリンピックは止めだとか、分散するだとかになりかねないなと思っています。

最近新聞にもありましたが、1900年初頭に世界を騒がせました黄禍論という、黄色人種排斥論ですね。これはドイツのウィルヘルム2世が言いだした論で、キリスト教社会の白人が一致団結して黄色人種を排斥しようという運動です。最初は、中国がターゲットだったのですが、日清戦争に日本が勝ったために、日本にターゲットが変わった。これがアメリカで爆発的に流行し、アメリカで日本人排斥が起こり、それが第二次世界大戦につながったとも言われています。

今中国がこうになって、中国、日本、韓国がまた白色人種から排除されるようなことが起こったらいかんとなんてそんな感じさえします。



国際ロータリー第2700地区

福岡南ロータリークラブ

Fukuoka South Rotary Club

お尋ねですが、最近はマスクがなかなか手に入りません。再使用は可能でしょうか？

